

むくらむくら

令和元年 12 月 5 日発行

第 21 号

社会福祉法人桜友会
児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051



ごあいさつ

桜学館施設長 山口 薫

関に通うようになってから 3 年目の秋を迎えています。

クリーンセンターから工業団地を曲がると、周りの景色がパッと明るく変わります。

市内に向かって伸びる通りの街路樹が今見事な紅葉で色づいています。少し良いことがありそうなウキウキする気持ちで車を走らせて来ます。

この秋、日本列島は何度も台風に見舞われ、東日本に甚大な被害を残しました。厳しい冬を前に後片付けに苦労される姿が放映されています。復旧ボランティアで参加されている方もみえ、その気持ちに頭が下がる思いです。国を挙げ一日も早い復旧・生活再開が進むことをお祈りいたします。

さて、桜学館では夏休みにはデイキャンプとして滋賀県長浜近辺でのカレー作り、クラフト体験、水陸両用バスの湖面走行、その後チームでの長浜探検などグループ体験活動を満喫してきました。自分たちで作ったカレーは格別美味しくみんな完食しました。その後は長浜の街をグループに分かれ、目的を決めて探検して来ました。

また、夏休みに高山市丹生川で、施設交流のソフトボール大会が行われ、普段の練習の成果として 3 戦で 1 勝、1 敗、1 引き分けという成績でした。熱中症が心配される中、元気に 3 戦を頑張りました。

子どもたちはこのように様々な体験を通して、頑張りや協力などの大切な生きる力を一人一人自分に合ったペースで身につけています。

先日行われた分級文化祭での子どもたちの姿がそのことを伝えてくれました。関市文化会館を会場に、初めての小中学校合同の取り組みでした。保護者の皆さん、教育関係者、福祉関係者の前で行った、小学生のダンス、手話バージョンの歌、合唱等、また、中学生は職場体験報告、修学旅行報告をしっかりとユーモアを交えて発表できました。どの子も舞台の上で伸び伸びと演技していました。更に伝統の分級太鼓も見事な演奏でした。作品展示の「心の中」のリサイクルアートは一人一人の気持ちが良く表現されていました。わおん表彰でも「未来について」「こんな大人になりたい」のテーマで自分の考えを上手く表現していました。入所当初は子どもの気持ちも混乱して、安定しない状態もありますが、健康的な生活リズムの獲得と、対人関係のスキルを身につけていく中で子どもたちの持つ能力が磨かれ文化祭のような姿に育ってくると考えています。今後ともご家族の皆さんをはじめ多くの方々のご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

(追記) 師走を前に、桜学館にサンタさんが現れました(ご寄付を頂きました)。子どもたちのクリスマス会にあてさせていただきます。ありがとうございました。どうぞ、良いお年をお迎えください。

風ユニット

秋と言えば芸術の秋！風ユニットの子ども達は、
絵や物づくりが得意な子がたくさんいます
クラブでレジン作品を作ったり、お部屋で絵を描いたり…
素敵な「自分の時間を過ごすプロ」です。
そんな素敵なプロがいっぱいの風ユニットです。
プロ達の作品の一部をご覧ください！



虹ユニット



安心と安全の土台から、真価を見せて空を泳ぐことを目指す虹のユニットに、新しい仲間が加わりました。仲間が増えたことで環境にも変化が起き、さらには文化祭やテストなどの行事もあり、みんな忙しい日々を送っています。

ちょっぴり調子の悪い日もあったり、心に余裕がない日もあったりしたけれど、今までできていたことは継続してできるように、仲間を思いやる気持ちを意識して、大空へ羽ばたく準備をしています。

新しい仲間と共に、さあ、空を泳ぎに行きましょう。





光ユニット



今年度は職人と出会うというテーマで、様々な分野の職人と関わる機会を作りました。自動車整備工場をはじめ、喫茶店や、コマ工場を訪れました。

有限会社シオンとの交流では、制作しているコマを見せて頂き、更に自分オリジナルのコマ作って対戦もしました。

工場見学もさせて頂き、金属加工を間近で見せてもらうことが出来ました。



空ユニット

あつーい夏が過ぎ、急な寒さにカメムシがやってくるように！
空ユニットでは虫が苦手な子が多いため、毎日のように現れるカメムシに四苦八苦🐞なのに、“カメぞう”“カメきち”などなど、愛称(?)を付けています(笑)



寒くなり始めた一方、先日は、普段なかなか行けない

百年公園へ！

「自転車に乗るの久しぶり！まだ乗れるかな・・・？」
なーんて不安はよそに、体が覚えていて乗れる乗れる！全速力で走っていく年長者に、負けじと走っていきました。他にもアスレチックで遊んで、楽しいひと時を過ごしてきました。



桜学館分級のあゆみ

はじめての小中合同文化祭

令和元年 11 月 13 日、第 14 回分級文化祭が開催されました。今年度のテーマは『心を合わせ、心を伝える』です。これまでの文化祭とは違い、今年は小学生も一緒に参加しました。分級の日々の活動で大切にしている『小中合同』という活動を文化祭の中にも取り入れ、小学生も中学生も一緒になって緊張感を味わい、一体感を味わい、そして笑顔にあふれた文化祭にすることができました☆

小学生の発表は、ミニコンサート「虹色フェス」！

「世界は一つ、みんななかよし」をテーマに、オリンピック応援

ソング「パプリカ」のダンス、手話

「世界が一つになるまで」「ピリープ」

を披露しました。これまで取り組んで

きたことを大きな舞台上で発表できたこ

とは、素晴らしい体験となりました。

合唱や、作文の発表も緊張の中、がんばってやり
きることができ、よい文化祭となりました。



1 年生は、牛乳パックを使ったリサイクルアート作品。自分の心の中を表現しました。2 年生は、職場体験に向けた取り組みから、働くことの大切さについて学んだことを発表。ステージ上で大きな声で夢宣言をしました。3 年生は修学旅行体験記のプレゼンテーション。旅行中のエピソードをクイズや動画を交え、楽しく報告することができました。毎年恒例の分級太鼓は、総勢 16 名での演奏となりました。何度も何度も練習した成果を、堂々と披露することができました。中学生最終の演目は合唱。難しい曲に挑戦しましたが、歌詞に思いをのせ、観客のみなさんの心に届くように精一杯歌いました。『心を合わせ、心を伝える』文化祭となりました。

わおん大賞

『未来』『将来』『自分の夢』をテーマに書いた作文の表彰を、文化祭の中で行いました。誰が選ばれるかわからない、緊張した雰囲気の中、名前を呼ばれた児童・生徒たちは大きな声で返事をし、ステージに登壇。賞状を受け取り、自分の作品を読み上げました。自分たちが描いた『未来』『将来』に一步でも近づけるよう、これからの生活に磨きをかけていけるといいですね。





レクより



SUMMER EVENT

今年は岐阜県を飛び出し、少し遠くの滋賀県の余呉と長浜へ行きました。ウッディバル余呉にてカレー作りやモノづくり体験を行いました。前日の天候が悪く、みんなが楽しみにしていたアスレチックは使えませんでした。楽しくモノづくり体験を行うことができました。長浜は黒壁スクエアへ行き、散策や水陸両用バス、体験工房など非日常的な特別な体験をすることができました。職員自作のスタンプラリーもあり、大満足のサマーイベントとなりました。



FAMILY FESTIVAL

秋と言えば食欲の秋？読書の秋？運動の秋？
様々な秋がある中、今年は家族を招いてフェスティバルを開催しました。午前中はモノづくりでハロウィンのキャンドル作り、不思議体感遊びで片栗粉ねんどなど、様々な体験コーナーを行いました。おひるはBBQ！！おいしいお肉に野菜、秋の味覚を使った栗ご飯、キノコご飯のおにぎりなど、たくさん食べました。午後からは体を使った風船バレー、頭を使ったボードゲームや将棋とたくさんの活動を行うことができました。





寄付・ボランティアへのお礼



10月には、MOAのお茶ボランティアの方に来て頂き、茶道のお点前を披露して頂きました。普段なかなか触れることのない日本の伝統文化に触れながら子どもたちも美味しいお菓子を楽しみました。

また11月には、ぎふ音楽クラブ5名の方々に本格的なステージで演奏して頂きました。子どもたちもステージに立ち、緊張しながら練習の成果を披露しました。ミナモちゃんも飛び入り参加。厨房の方の手作りのアップルパイを食べながら楽しい時間を過ごしました。



皆さまの力に支えられ、子どもたちは様々な経験を重ねていきます。演奏のためにギターの練習を始めた子もいます。そんな日々の積み重ねが子どもたちの世界を広げてくれます。

様々な方から、ナゴヤドーム観戦チケットなどご支援を頂き、子どもたちのために使わせて頂いています。心からお礼を申し上げます。来年もよろしくお願いいたします。



子ども家庭支援センター「とも」



いつまで暑が続くのかと思うようなこの夏でしたが、すっかり冷え込みが強くなってきましたね。毎年秋は、各地域の催しで里親の啓発活動が行われます。皆様もどこかで目にしておられるかもしれません。来年度から、ともに里親養育支援の職員が新たに配置されることになりました。これまでより一層充実した里親養育支援が実施できるよう、職員一同努力して参ります。2019年も大変お世話になりました。皆様、どうぞお身体を大切に良い年をお迎え下さい。

編集後記

台風など災害が多い一年でしたが、はや年末も近づいて来ました。皆さまお元気にお過ごしでしょうか？桜学館には低学年の子どもも増え元気な声が響いています。子どもたちと若い職員は冷たい風が吹く中、鬼ごっこやキックボードで走り回っています。11月13日の小中合同の文化祭で自信をつけた子どもたちは高校受験など次の課題に向け、始動しました。低学年の子は友だちとぶつかり合うことで少しずつ成長してきています。

これから本格的に寒くなっていきますが、皆さまご自愛ください。

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想をお寄せください。（E-Mail：sakura@hohoemi.or.jp）

広報委員 川治・横井